

基本理念3

安全でやすらぎのある
持続可能な
暮らしづくり

政策目標	7	環境に配慮し次代に引き継ぐ潤いのあるまち
政策目標	8	安全で安心して暮らせるまち
政策目標	9	生命や財産が守られるまち

政策目標
7

環境に配慮し次代に引き継ぐ潤いのあるまち

目指すべき将来像

低炭素・資源循環・自然共生社会の形成に向け、日常生活や事業活動・行政活動において、環境配慮への意識の向上や自主的・連携した取り組みが実践され、温室効果ガスの排出量が減少している
空気がおいしく、澄み渡った空が見られるきれいな環境を身近に感じることができる
多くの市民が、ごみ・資源の適正分別や排出マナーなどに配慮した行動をとっており、廃棄物の削減が進み資源の有効活用が図られている
適正で効率的な資源分別・収集が定着し、焼却残さの削減と温室効果ガス排出量の削減が進んでいる

政策目標における3年間の目指すべき方向性

環境への重要な取り組みとして、循環型の地域社会システムを構築していくことが求められています。

このため、市民一人一人のごみ排出量を抑制していくことで、資源循環化に取り組んでいきます。燃やせるごみの量は、平成15年度の6万847トンをピークに減少傾向にあり、平成21年度は5万6736トンと6.8%減少しています。

また、資源物は周辺自治体に比べて分別品目が少なく、リサイクル率も17.7%（県調査による平成20年度実績値）と県内平均の24.9%より低いいため、品目の拡大を図るなどの施策展開により資源化を進めます。

不法投棄は、看板の設置や巡回による取り組みにより、平成21年度には248件に減少しており、200件を目標に看板の設置やパトロールなどを強化します。

市内の大気汚染状況は全般的には改善が進んでいますが、光化学オキシダントのみ環境基準不適合の状況です。今後、環境基準値超過日数の低減に向け、事業場立入調査を積極的に進め、VOC排出削減の指導、監視を強化し、削減に努めます。

また、地球温暖化対策への取り組みとして、市域の温室効果ガスの排出量を削減するため、率先して市民・事業者が、日常生活で発生する温室効果ガス排出の抑制に取り組むことや、事業内容に照らして創意工夫を行うことなどの行動を促します。

一般会計	件数	概算事業費
政策的事業	27	3,800 百万円
定例・定型的事業	67	4,051 百万円
人件費		4,056 百万円
一般会計概算事業費合計		11,907 百万円

施策目標：23**環境に配慮した市民・事業者・行政の率先した活動と連携による活動を促進する
(環境政策課)****施策の方向性****1 環境に配慮した活動の実践**

深刻化している地球温暖化や生物多様性の喪失などの地球環境問題に対処し、持続可能な社会を構築するため、低炭素社会、資源循環型社会、自然共生社会への転換を目指します。また、市民一人一人の日常生活、事業者それぞれの事業活動において、温室効果ガスの排出削減や省エネルギーなどを実践できるような仕組みや、多様な生物が生息できるよう海・川・里山・農地などの自然が保全され、維持管理されるような仕組みにより、市域全体で環境に配慮した活動を促進します。

2 環境意識の高揚

環境教育の充実とさまざまな機会を活用した環境情報の提供などを通じて、理解を深めながら環境意識の高揚を図ります。

3 地域組織や団体への活動支援

既に環境に配慮した活動に自主的に取り組んでいるコミュニティ、事業者、学校などとのネットワークの充実と新たに取り組む意欲のある団体などの活動を支援します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
住宅用太陽光発電システムの補助設置数	134 件 (平成21年度)	250 件	市の補助を受けて設置した住宅用太陽光発電システムの設置状況を測ります。地球温暖化対策として、システムの導入を促進します。現状値に加え、100 件を補助することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
地球温暖化対策地域推進計画改定事業		国及び県の動向及び社会情勢の変化に対応するため 平成21年3月策定の「茅ヶ崎市地球温暖化対策地域推進計画」の短期目標などの見直しと計画の推進を図ります。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 計画の改定作業	
1 環境に配慮した活動の実践						平成24年度 計画の改定完了	
継続		事業実施年度	23年度	24年度			
事業主体	市	平成23～25事業費	7,000 千円			平成25年度 —	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
電気自動車（EV）普及推進に関する補助制度		電気自動車（EV）を普及させ、地球温暖化の防止に貢献するため、購入費用の一部を補助します。				指標 電気自動車（EV）の補助件数	
施策の方向性						目標 平成23年度 15件	
1 環境に配慮した活動の実践						平成24年度 20件	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 20件	
事業主体	市	平成23～25事業費	5,500 千円			平成25年度 20件	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
省エネ機器等の導入支援事業		省エネルギー機器を普及させ、地球温暖化の防止に貢献するため、高効率給湯システムなどを設置する費用の一部を補助します。				指標 高効率給湯システム等設置補助件数	
施策の方向性						目標 平成23年度 —	
1 環境に配慮した活動の実践						平成24年度 300件	
新規		事業実施年度		24年度	25年度	平成25年度 300件	
事業主体	市	平成23～25事業費	12,000 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
太陽光発電設置補助事業		住宅用太陽光発電システムを普及させ、地球温暖化の防止に貢献するため、設置費用の一部を補助します。 ※太陽光発電設置補助件数（平成21年度）：134件				指標 太陽光発電設置補助件数
施策の方向性						目標 平成23年度 250件
1 環境に配慮した活動の実践						平成24年度 250件
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 250件
事業主体	市	平成23～25事業費	56,500 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
太陽光発電装置用パワーコンディショナ補助事業		地球温暖化の防止に貢献している、住宅用太陽光発電システムを良好な状態で維持できるよう、パワーコンディショナ（太陽電池の直流電力を交流電力に変換する装置）を交換する費用の一部を補助します。 ※パワーコンディショナの補助件数（平成21年度）：0件				指標 パワーコンディショナの補助件数	
施策の方向性						目標 平成23年度 5件	
1 環境に配慮した活動の実践						平成24年度 5件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 5件	
事業主体	市	平成23～25事業費	900 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

茅ヶ崎市環境基本計画推進事業

(1 環境に配慮した活動の実践)

「茅ヶ崎市環境基本計画」を適切に進行管理し、本計画に位置づけた施策を推進します。

地球温暖化対策地域推進計画の推進

(1 環境に配慮した活動の実践)

市民、事業者、市が連携・協力し、市域で地球温暖化対策に取り組み、市域の温室効果ガスを削減します。

茅ヶ崎市温暖化対策推進協議会と連携し、市民・事業者などの様々な視点に立ち、温暖化対策に関する普及啓発活動を展開します。

エネルギー使用量を把握するための機器（エコナビ）の貸出促進を図ります。

茅ヶ崎市環境マネジメントシステム推進事業

(1 環境に配慮した活動の実践)

平成 22 年 3 月に返上した I S O による環境マネジメントシステムに代わり、市独自の環境マネジメントシステムを推進します。

学校版環境マネジメントシステム推進事業

(1 環境に配慮した活動の実践)

児童・生徒の環境意識を育て、学校生活の中で環境活動を継続的に実践するための仕組みを確立します。

自然エネルギーの利用促進

(2 環境意識の高揚)

協働推進事業として、自然エネルギー等の普及啓発事業を市民団体と実施します。

太陽光発電設置相談会等を開催します。

環境学習推進事業

(2 環境意識の高揚)

里山はっけん隊事業やこどもエコクラブ事業といった環境学習を通じ、環境の保全を目指します。

市民・事業者・市との連携体制の推進

(3 地域組織や団体への活動支援)

市民・事業者が参加する「環境市民会議 ちがさきエコワーク」を支援します。

施策目標：24

快適で安全な生活環境を守る（環境保全課）



施策の方向性

1 市民・事業者などの意識やモラルの向上

だれもが安心して暮らせる快適な環境を保全する活動に、市民・事業者などの参加を促すとともに、公害の監視活動や情報開示を通じて、市民・事業者などの環境に対する意識とモラルを向上させる仕組みを構築し、市民・事業者・行政が一体となった環境保全活動を進めます。

2 地域の環境保全活動や美化活動の促進と支援

地域、地区レベルで自治会組織や市民一人一人が、地域の環境保全活動や美化活動に自発的に取り組めるよう、仕組みづくりや支援に努めます。

3 環境衛生の向上

公衆便所の維持管理や狂犬病予防注射接種の促進などを通じて環境衛生の向上を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
揮発性有機化合物（VOC）大気排出量削減率	0% （平成20年度）	30.0%	光化学スモッグの主な原因物質である、VOC多量排出事業所への立入調査等の指導により、大気排出量の削減を推進します。現状値から毎年6%削減することを目標としました。
水質排水規制基準適合率	88.6% （平成21年度）	91.7%	工場・事業場への排水検査を伴う立入調査で、排水基準の遵守を指導することにより、河川水質への環境負荷の低減を図ります。排水検査立入予定24件のうち、毎年22件以上の基準適合を目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
水・土壌環境保全調査事業		工場・事業場の排水水について規制基準適合状況把握のため、排水検査を実施します。 ※排水検査立入件数（平成21年度）：26件				指標 排水検査立入件数
施策の方向性						
1 市民・事業者などの意識やモラルの向上						
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	目標 平成23年度 24件 平成24年度 24件
事業主体	市	平成23～25事業費	43,082 千円			平成25年度 24件
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標
茅ヶ崎駅南口公衆便所整備事業		茅ヶ崎駅南口公衆便所は、昭和60年4月に供用開始し使用されていますが、施設の老朽化に伴い改修などの検討を行います。				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標
3 環境衛生の向上						平成23年度 改修等の検討
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 改修等の検討
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 改修等の検討
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 ■ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

主要な定例・定型的事業

大気環境保全調査事業

(1 市民・事業者などの意識やモラルの向上)

工場・事業場の排出ガスについて、規制基準適合状況の確認及び排出抑制のため、工場・事業場立入検査を実施します。

自動車排出ガスの状況を把握するため新たな大気調査を実施します。

騒音・振動・悪臭対策事業

(1 市民・事業者などの意識やモラルの向上)

自動車騒音・振動は、市内道路沿線で測定し、状況を把握します。

航空機騒音は、市内特定箇所では通年測定し、状況を把握します。

悪臭公害の解決を図るため、臭気指数による規制を行います。

美化運動推進団体支援事業

(2 地域の環境保全活動や美化活動の促進と支援)

地域清掃を実施している団体に対し、ゴミ袋、軍手を提供し、地域の環境保全や美化運動を支援し、促進します。

海岸美化推進事業

(2 地域の環境保全活動や美化活動の促進と支援)

美化キャンペーンクリーン茅ヶ崎や街頭美化キャンペーンを実施し、市民の美化意識の高揚を図ります。

海岸の環境保全を目的とする（財）かながわ海岸美化財団による活動を支援します。

狂犬病予防事務事業

(3 環境衛生の向上)

飼育犬の登録、狂犬病予防注射接種 100% を目指し事業を推進します。

施策目標：25

資源循環型社会の形成を目指す（資源循環課）

□ 施策の方向性

1 ごみの排出抑制

大量生産・大量消費・大量廃棄型の生活様式からの脱却を目指して、啓発活動の充実を図るとともに、レジ袋削減に向けた取り組みなどを通じて、ごみに対する意識の高揚を図り、全市民と協働してごみの排出抑制を進めます。

2 資源循環の仕組みの充実

ごみ処理の広域化を推進し、処理施設と資源化施設の共同整備や有効活用を図るとともに分別品目や収集方法を見直して資源化を促進します。

3 廃棄物の適正処理

循環型社会の形成に向けた収集計画を策定し、家庭から出るごみをはじめ、事業系ごみ、し尿、浄化槽汚泥などの適正処理を行います。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
1人1日当たりの資源物を除いたごみ排出量	748 g (平成21年度)	666 g	資源循環の取り組みが効果的に実施できているかを測ります。排出抑制施策の効果を見る指標です。人口の増減による排出量への影響を取り除くため市民1人1日当たりの排出量を指標としています。 排出抑制や資源化促進などの施策展開により、ごみ排出量の削減を図ります。 「一般廃棄物処理基本計画」に定める、家庭系ごみ及び事業系ごみの排出抑制目標を積み上げ、目標設定しました。
リサイクル率	17.8% (平成21年度)	30.0%	資源化促進のための取り組みが効果的に実施できているかを測ります。資源化の進捗状況を見る指標です。分別収集方法を見直し、資源物として回収する品目を拡大することにより、平成32年度リサイクル率34.7%を目標としました。 リサイクル率：ごみ排出量に占める資源化量の割合

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
ごみの排出抑制推進事業		ごみの排出を抑制するため、情報発信と教育の充実、三者協調型資源回収制度の見直しを図るとともに、戸別収集やごみ処理有料化についても検討します。 ※1人1日当たりの資源物を除いたごみの排出量（平成21年度）：748g				指標 1人1日当たりの資源物を除いたごみの排出量 目標 平成23年度 746g 平成24年度 697g 平成25年度 666g
施策の方向性						
1 ごみの排出抑制						
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	118,400 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
茅ヶ崎市一般廃棄物 処理計画の改訂		資源循環型社会を構築するため、平成20年3月に策定した「茅ヶ崎市一般廃棄物処理基本計画」を社会環境にあったものに改め、常に効果的なものにするため、基本計画及び実施計画を改訂します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
2 資源循環の仕組みの 充実						平成23年度 基本計画素案策定 実施計画策定	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 基本計画改訂 実施計画策定	
事業主体	市	平成23～25事業費	13,860 千円			平成25年度 実施計画策定	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標
茅ヶ崎市分別収集計画の改定		資源循環型社会を構築するため、平成22年5月に策定した「茅ヶ崎市分別収集計画」を社会環境にあったものに改め常に効果的なものにするため、一般廃棄物処理基本計画を考慮し、分別収集計画を改定します。				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標
2 資源循環の仕組みの充実						平成23年度 — 平成24年度 — 平成25年度 計画改定
新規		事業実施年度			25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	— 千円			
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湖北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標
(仮称) 広域リサイクルセンター整備事業		資源物を広域で処理するため、寒川町にリサイクルセンターを建設します。 建設工事を平成22年度から進めており、平成23年度中の完成を目途に、引き続き工事を進めます。				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標 平成23年度 建設工事完了
2 資源循環の仕組みの充実						平成24年度 －
継続		事業実施年度	23年度			平成25年度 －
事業主体	市	平成23～25事業費	826,009 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
資源物選別処理施設の解体整理事業		広域リサイクルセンターの稼働にあわせ、旧施設を除却します。 選別施設を解体します。 汚染土壌を除去します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 解体設計完了	
2 資源循環の仕組みの充実						平成24年度 解体工事完了 汚染土壌の除去完了	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 跡地の適正管理	
事業主体	市	平成23～25事業費	153,294 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☒ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☒ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
資源化促進事業		寒川町に資源物の処理を委託します。 剪定枝を資源化します。 プラスチック製容器包装類を資源化します。 廃食用油、金属類を資源化します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
2 資源循環の仕組みの充実						平成23年度 モデル事業実施	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 分別収集方法の見直し	
事業主体	市	平成23～25事業費	1,101,952 千円			平成25年度 分別収集方法の見直し	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
ごみ処理広域化事業		広域による資源循環型社会を構築するため、湘南東ブロック（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）内で検証し、一般廃棄物会計基準を導入します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
2 資源循環の仕組みの充実						平成23年度 会計基準マニュアルの作成	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 会計基準の導入	
事業主体	市	平成23～25事業費	2,981 千円			平成25年度 ごみ処理経費の検証	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
焼却処理施設の延命化事業		焼却処理施設を可能な限り長期間に渡って使用するため、地域計画及び延命化計画を策定します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
2 資源循環の仕組みの充実						平成23年度 地域計画の策定	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 延命化計画策定	
事業主体	市	平成23～25事業費	11,770 千円			平成25年度 基本設計	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☒ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
し尿処理手数料用オフコンの改修		データ管理の効率化を図るとともに、収納事務の一元化にも対応できるよう、し尿処理手数料システムの改修に向け、システムを検証します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
3 廃棄物の適正処理						平成23年度 システム検証	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 システム検証	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 システム検証	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
市道6342号線等道路改良事業		最終処分場周辺の生活環境を整備します。 地域の生活環境向上を考慮し、地域内道路を整備します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 201m	
3 廃棄物の適正処理						平成24年度 205m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 175m	
事業主体	市	平成23～25事業費	177,028 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☐ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☒ 小出						

主要な定例・定型的事業

ごみの減量化・資源化に関する支援制度

(2 資源循環の仕組みの充実)

生ごみの資源化・減容化のため、生ごみ処理容器の普及を促進します。

ごみの減量化・資源化に関する啓発事業

(3 廃棄物の適正処理)

資源物選別処理施設をはじめとした施設見学会や「ごみ通信ちがさき」、ホームページを通じてごみに関する情報を発信することにより、ごみの減量化・資源化を進めます。

施策目標：26

ごみや資源物を効率的に収集・処理する（環境事業センター）



施策の方向性

1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化

燃やせるごみ・燃やせないごみ（破碎すれば燃やせるごみも含む）に含まれている資源物を減らすため、資源物の適正排出の指導・周知を徹底するとともに、資源物の分別収集品目の拡大により、ごみの減量化を推進します。また、資源物の効率的な収集を実施します。

2 最終処分場の適正な維持管理

最終処分場の適正な維持管理のため、ごみの排出抑制・資源化を推進するとともに、焼却残さの溶融化・有効活用を促進します。

3 不法投棄防止事業の推進

監視カメラや看板の設置、昼間の市内巡回監視指導のほか、夜間パトロールを実施し、「不法投棄しない、させない」環境を目指します。

4 中間処理施設の整備

廃棄物の適正処理のため中間処理施設の施設整備は欠かすことができません。周辺地域の環境に配慮し、安定的な運転のため、保守点検、整備を進め、加えて中長期的な視点に立った維持管理を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
ごみ不法投棄件数	248件 (平成21年度)	200件	ごみの不法投棄状況を測ります。パトロールや監視カメラの設置などを進め、不法投棄を毎年10件減少することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
収集車両購入事業		計画的に車両を更新するとともに、環境に配慮した低公害車を導入します。 ※車両購入台数（平成22年度）：2 t パッカー車3台				指標 車両購入台数	
施策の方向性						目標 平成23年度 2 t パッカー車2台	
1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化						平成24年度 2 t パッカー車2台	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 2 t パッカー車2台	
事業主体	市	平成23～25事業費	45,786 千円			平成25年度 2 t パッカー車2台	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
PCB廃棄物保管及び 処理委託事業		平成25年度からの処理に向け、市施設から排出された、PCB廃棄物を適正に保管処理します。				指標 PCB廃棄物の状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 保管	
1 資源物の適正排出の 指導・周知の徹底と収集 の効率化						平成24年度 保管	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 早期登録予約分の処 理完了	
事業主体	市	平成23～25事業費	12,727 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
収集・運搬業務の民間活用		平成22年5月策定の「茅ヶ崎市分別収集計画」に基づき、効率的に資源物を収集・運搬します。 民間活用による収集・運搬を実施します。				指標 新たな分別方法での収集・運搬状況	
施策の方向性						目標	
1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化						平成23年度 試行	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 実施	
事業主体	市	平成23～25事業費	666,000 千円			平成25年度 実施	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湖北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
広域処理に伴うごみの搬入業務		寒川町との広域リサイクルセンター建設に伴い、寒川町民及び事業者の直接搬入ごみを支障なく受け入れます。 ※許可業者、業者、町民受入れ件数（平成21年度）：8,089件				指標 許可業者、業者、町民受入れ件数	
施策の方向性						目標 平成23年度 8,200件	
1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化						平成24年度 8,200件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 8,200件	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
広域処理に伴う搬入ごみの賦課・徴収に係る業務		寒川町との広域リサイクルセンター建設に伴い、本市は、寒川町民及び事業者の直接搬入ごみを受け入れるため、賦課徴収事務を支障なく実施します。 ※許可業者、業者、町民受入れ件数（平成21年度）：8,089件				指標 許可業者、業者、町民受入れ件数	
施策の方向性						目標 平成23年度 8,200件	
1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化						平成24年度 8,200件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 8,200件	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
焼却灰等有効利用事業		焼却残渣を資源として有効利用できる方法に処理方法を転換すると同時に、安全な処理及び再資源化を推進します。 ※再資源化処理量（平成22年度）：900 t				指標 再資源化処理量	
施策の方向性						目標 平成23年度 975 t	
2 最終処分場の適正な維持管理						平成24年度 1,000 t	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	151,207 千円			平成25年度 1,050 t	
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 ■ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
最終処分場の修繕		最終処分場が法で定められた技術上の基準に適合し、安定して運転管理できるよう施設を維持します。 各設備の保守点検を実施し、その結果から適正な修繕計画を策定し修繕を実施します。 ※稼働施設数（平成22年度）：3施設				指標 稼働施設数	
施策の方向性						目標 平成23年度 3施設	
2 最終処分場の適正な維持管理						平成24年度 3施設	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 3施設	
事業主体	市	平成23～25事業費	26,100 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☒ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
ごみ焼却処理施設の修繕		ごみ焼却処理施設が法で定められた技術上の基準に適合し、安定して焼却できるよう施設を維持します。 各設備の保守点検を実施し、その結果から適正な修繕計画を策定し修繕を実施します。 ※稼働炉数（平成22年度）：3炉				指標 稼働炉数	
施策の方向性						目標 平成23年度 3炉	
4 中間処理施設の整備						平成24年度 3炉	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 3炉	
事業主体	市	平成23～25事業費	307,435 千円			平成25年度 3炉	
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
粗大ごみ処理施設の修繕		粗大ごみ処理施設が法で定められた技術上の基準に適合し、安定して処理できるよう施設を維持します。 各設備の保守点検を実施し、その結果から適正な修繕計画を策定し修繕を実施します。 ※稼働施設数（平成22年度）：2施設 ※粗大ごみ処理施設 3軸破碎機 ハンマ式破碎機				指標 稼働施設数	
施策の方向性						目標 平成23年度 2施設	
4 中間処理施設の整備						平成24年度 2施設	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 2施設	
事業主体	市	平成23～25事業費	58,200 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
電波障害対策事業		焼却炉施設の建設によるアナログテレビ放送の電波障害が、地上デジタル放送開始に伴い解消されたため、各戸受信方式に切り替えていただきます。 各世帯のアンテナなどの設置を支援します。 既存共同受信設備を撤去します。				指標 電波障害対策状況	
施策の方向性						目標	
4 中間処理施設の整備						平成23年度 デジタル対策支援と 既設設備撤去完了 平成24年度 —	
継続		事業実施年度	23年度			平成25年度 —	
事業主体	市	平成23～25事業費	2,363 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☐ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☒ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

主要な定例・定型的事業

環境指導員制度の推進事業 (1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化)

ごみの分別や出し方が守られない方へ適正な排出を指導・啓発するため、環境指導員制度を推進します。

不適正排出者に対する啓発業務 (1 資源物の適正排出の指導・周知の徹底と収集の効率化)

「ごみと資源物の分け方・出し方」、「ごみと資源物の収集カレンダー」を各戸に配布し、適正排出を周知徹底します。

不適正排出物に対する啓発シール貼り付けによる排出指導を推進します。

最終処分場の維持管理業務 (2 最終処分場の適正な維持管理)

焼却灰の埋立が法で定められた技術上の基準に適合し、安定して処理できるよう維持管理します。
旧処分場については、周辺の生活環境に影響がないように継続して監視します。

最終処分場の公害対策業務 (2 最終処分場の適正な維持管理)

最終処分場周辺の生活環境に影響がないよう、浸出水、放流水、地下水等の測定を実施します。

不法投棄防止事業 (3 不法投棄防止事業の推進)

職員による巡回や監視カメラの設置により、不法投棄を未然に防止します。

ごみ焼却処理施設の公害対策業務 (4 中間処理施設の整備)

ごみ焼却処理施設周辺の生活環境に影響がないよう、排出水、排ガス等の測定を実施します。

政策目標
8

安全で安心して暮らせるまち

目指すべき将来像

地域ぐるみの防犯活動が進み、犯罪が抑制されている
自転車利用のマナーが徹底され、自転車事故が減少している
地域の自主防災組織の組織化が進み、防災リーダーのもと、避難訓練、防災活動が活発に行われ、日ごろから災害に備えられている
市民の不安や悩みに対する相談に対応できている

政策目標における3年間の目指すべき方向性

市民の安全・安心に向けて、日常生活における地域ぐるみの防犯活動が効果的に実施できるまちを目指し、平成21年に1,062件発生している犯罪件数の減少を図ります。

平成21年において、1,073件発生している交通事故発生件数を減少していくため、警察関係機関と連携し交通安全教室などの取り組みなどを進めていきます。

地震災害などへ備えるため、地域防災計画、防災備蓄品の充実を図り、初動体制の整備を行うとともに市民の防災に対する意識の向上を推進します。また、災害時に自主防災組織が自助・共助組織としての役割を担えるように防災リーダーの養成に力を入れていきます。

また、近年多発している犯罪や安全な消費を脅かす諸問題などに対する市民の悩みや不安の解消を図るため、相談体制の強化を行い、解決に向けた取り組みを進めます。

一般会計	件数	概算事業費
政策的事業	13	436 百万円
定例・定型的事業	47	566 百万円
人件費		736 百万円

一般会計概算事業費合計	1,738 百万円
-------------	-----------

施策目標：27

市民生活の安全を確保する（安全対策課）



施策の方向性

1 犯罪の未然防止

オレオレ詐欺や還付金詐欺に代表される主に高齢者をターゲットとした振り込め詐欺事件が急増しており、その犯罪の未然防止に取り組みます。

2 防犯体制の強化

地域での防犯に対する意識が高まっていることから、地域の防犯活動の核となる防犯リーダーの育成が必要です。そのための講座の開催や人材育成には、多くの市民の参加を促すための柔軟性をもった取り組みを検討するとともに、地域防犯活動に対する支援を充実します。また、関係機関、関係団体と連携し防犯体制の強化に努めます。

3 駅周辺の放置自転車の解消

放置自転車により歩行者空間や通行の確保が阻害されており、駅周辺の放置自転車の解消を図る対策を講ずるとともに、自転車駐車場の整備を推進します。

4 交通安全教育と広報啓発活動の推進

関係機関、関係団体との連携強化を図りながら、受講機会が少ない大人に重点を置いた交通安全教室を実施するとともに、自転車の安全利用についての広報啓発活動を充実します。

5 放置自転車・違法駐車 の 解消

「茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続き及び基準等に関する条例」による指導や違法駐車防止啓発活動を進め、放置自転車や違法駐車 の 解消を図ります。

6 交通安全対策の推進

通学路の安全対策や交通指導員の活動支援など、交通安全対策を推進します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年の目標値	指標の説明・意図
交通事故発生件数	1,073 件 (平成21年)	990 件	交通安全対策が効果的に実施できているかを測ります。交通ルール の 周知、交通安全教室、街頭キャンペーンなどの啓発、ドライバーに対する意識啓発看板設置などの事業を進め、交通事故を毎年20件減少することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
防犯灯設置による防犯対策事業		犯罪抑制効果が期待される防犯灯の設置により、安全で安心なまちづくりを推進します。 LED（発光ダイオード：消費電力を抑えることができます。）防犯灯や、照度の高い防犯灯、青色防犯灯を設置します。 ※防犯灯数（平成22年度）：14,000灯 ※LED等防犯灯の新設・切り替え灯数（平成21年度）：新設 0灯・切替 150灯				指標 LED防犯灯の新設・切り替え灯数
施策の方向性						目標
1 犯罪の未然防止						平成23年度 新設 95灯 切替 100灯 平成24年度 新設 95灯 切替 30灯 平成25年度 新設 95灯 切替 30灯
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	197,289 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
地域防犯活動推進事業		地域防犯活動団体への物品貸与などの支援をします。 防犯活動に関する情報提供や相談事業、防犯に関する講座、防犯ネットワーク会議を開催します。 ※累計地域防犯活動団体数（平成22年度）：50団体				指標 累計地域防犯活動団体数	
施策の方向性						目標	
2 防犯体制の強化						平成23年度 55団体	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 60団体	
事業主体	市	平成23～25事業費	3,600 千円			平成25年度 65団体	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
自転車駐車場施設整備事業		民間自転車駐車場の建設に対し、建設費の一部を助成し、自転車駐車場の整備を促進します。 自転車駐車場の需要調査を実施します。 ※茅ヶ崎駅南口の自転車駐車場累計整備台数（平成22年度）：4,469台				指標	
施策の方向性						茅ヶ崎駅南口の自転車駐車場累計整備台数	
3 駅周辺の放置自転車の解消						目標	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成23年度 4,469台	
事業主体	市	平成23～25事業費	14,660 千円			平成24年度 4,800台	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				平成25年度 4,800台	
地域	■ 全市	■ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湖北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

主要な定例・定型的事業

防犯関係団体育成事業

(2 防犯体制の強化)

防犯関係団体の活動支援や育成を行うことにより、防犯活動を促進し、防犯意識の高揚を図ります。

自転車駐車場管理運営事業

(3 駅周辺の放置自転車の解消)

市営自転車駐車場を指定管理者方式により管理運営します。

交通安全教育事業

(4 交通安全教育と広報啓発活動の推進)

幼児から高齢者まで、年代に合わせた内容で、段階的な交通安全教室を実施し、交通ルールの周知徹底、マナーの向上を図ります。

自動車駐車場管理運営事業

(5 放置自転車・違法駐車 の 解消)

市営自動車駐車場を指定管理者方式により管理運営します。

交通安全計画の推進

(6 交通安全対策の推進)

交通事故防止を目指してあらゆる機関が適切かつ効果的な交通安全対策を講ずることができるよう、「第9次茅ヶ崎市交通安全計画」を策定し、計画を推進します。

施策目標：28

あらゆる災害や危機に効果的に対応する（防災対策課）



施策の方向性

1 迅速な避難・救出の体制整備

災害が発生した場合に、災害対策本部を設置し、迅速な避難や救出など市民の生命と安全を確保できる体制を整えます。

2 防災意識の普及と自主防災組織への支援

自主防災組織との連携を強化するため、自助、共助、公助、それぞれの役割を認識できるよう意識の普及に努めるとともに、自主防災組織への支援をさらに充実・強化し、総合的な地域防災力の強化を図ります。

3 防災基盤の整備

災害時に重要な役割を担う防災行政用無線などの情報発信インフラなどの防災基盤の整備に努めます。災害時の応急対策として備蓄品の備蓄率の向上を目指します。また、ライフラインの耐震性の強化を関係機関と連携しながら進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
防災リーダー研修（再履修研修）の受講率	39.6% （平成21年度）	60.0%	防災リーダーの育成が効果的に実施できているかを測ります。啓発や開催方法の工夫により、受講率を年5%向上することを目標とします。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
津波対策訓練事業		関係機関などとの平時からの情報の提供と収集や、県との津波警報受伝達訓練、啓発普及活動及び津波対策訓練を実施します。 民間施設などとの災害時協定を締結します。 ※津波対策訓練・県との津波警報受伝達訓練回数（平成22年度）：0回・1回				指標 津波対策訓練の実施回数 県との津波警報受伝達訓練回数 目標 平成23年度 1回 1回 平成24年度 0回 1回 平成25年度 1回 1回
施策の方向性						
1 迅速な避難・救出の体制整備						
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	72 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 ■ 南湖 ■ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 ■ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 ■ 松浪 ■ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
自主防災組織育成事業		防災リーダーの増員と活動能力を向上すると共に、自主防災組織の強化・充実を図ります。 幅広い年齢層などの参加が可能となるよう内容などの見直しを行い、また防災リーダーの防災知識及び技術などの向上を図るために実施するフォローアップ研修の受講率を高めることを目標とし、各研修会を開催します。 防災資機材及び地区訓練の補助金制度を活用し、地域の組織の強化・充実を図ります。 ※防災リーダー研修（再履修件数）の受講率（平成21年度）：39.6%				指標 防災リーダー研修（再履修研修）受講率 目標 平成23年度 50.0% 平成24年度 55.0% 平成25年度 60.0%	
施策の方向性							
2 防災意識の普及と自主防災組織への支援							
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	52,620 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
防災資機材整備事業		災害時に必要な防災資機材、食糧及び生活必需物資などを整備します。 神奈川県防災戦略における減災目標との整合性を図りながら、災害発生時における応急対策活動の円滑な対応のための整備を図ります。 新たな災害時協定締結先との流通備蓄などの整備を図ります。 ※汚物処理セットの整備数（平成22年度）：600セット				指標 汚物処理セットの整備数	
施策の方向性						目標	
3 防災基盤の整備						平成23年度 800セット	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 800セット	
事業主体	市	平成23～25事業費	62,478 千円			平成25年度 800セット	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湖北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
防災倉庫整備事業		公共施設などの建設にあたっては、防災倉庫設置場所の協議を行い、計画的に設置します。 既設の防災倉庫を管理・修繕します。 ※防災備蓄コンテナ倉庫設置数（平成22年度）：1基 ※防災備蓄コンテナ数（平成22年度）：43基				指標 防災備蓄コンテナ倉庫設置数
施策の方向性						目標 平成23年度 1基
3 防災基盤の整備						平成24年度 0基
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 0基
事業主体	市	平成23～25事業費	3,300 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
地域防災無線整備事業		平成23年5月に使用できなくなるアナログ通信方式の地域防災無線を、デジタル通信方式に移行します。				指標 整備状況	
施策の方向性						目標	
3 防災基盤の整備						平成23年度 デジタル方式へ移行	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 安定稼働	
事業主体	市	平成23～25事業費	52,515 千円			平成25年度 安定稼働	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
防災行政用無線屋外 拡声子局整備事業		既設の防災行政用無線屋外拡声子局を管理・修繕します。 不感地域の解消などのため、計画的に屋外拡声子局を整備します。 ※屋外拡声子局の整備状況（平成22年度）：1局新設 ※屋外拡声子局数（平成22年度）：115局				指標 屋外拡声子局の整備 状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 1局移設	
3 防災基盤の整備						平成24年度 0局	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1局新設	
事業主体	市	平成23～25事業費	17,250 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
地域情報配信システム整備事業		災害時などの情報提供を行うための通信手段の一つとしてシステムを維持します。 戸別受信機の配備を進めます。 ※戸別受信機配備数（平成22年度）：17台 ※戸別受信機配備箇所数（平成22年度）：309か所				指標 戸別受信機配備数
施策の方向性						目標 平成23年度 7台
3 防災基盤の整備						平成24年度 5台
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 5台
事業主体	市	平成23～25事業費	16,868 千円			
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
避難標識整備事業		広域避難場所案内看板、津波注意標識などの維持管理を進めます。 ※避難標識等基数（平成22年度）：155基				指標 標識などの整備状況	
施策の方向性						目標	
3 防災基盤の整備						平成23年度 破損〇	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 破損〇	
事業主体	市	平成23～25事業費	510 千円			平成25年度 破損〇	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

国民保護対策事業

(1 迅速な避難・救出の体制整備)

国民保護の措置に必要な情報を収集し、関係機関との連絡調整を行い、図上訓練などを実施します。

地域防災計画推進事業

(1 迅速な避難・救出の体制整備)

地震等の災害に適切に対応するため、地域防災計画の見直しを進めます。

防災行政用無線等維持管理事業

(3 防災基盤の整備)

災害発生時や災害発生が予想される際に、速やかに防災行政用無線で情報の提供を行うため、防災行政用無線を維持管理します。

施策目標：29

市民の悩みや不安を解消する（市民相談課）



施策の方向性

1 情報提供の充実と相談の環境整備

近年、高齢者や生活弱者を狙った訪問販売や電話勧誘など、悪質商法による手口は巧妙化しています。情報提供のあり方や相談しやすい環境を整備します。

2 消費者意識の啓発

市民が安全・安心な消費生活を送ることができるよう、消費者啓発講座の開催、ホームページなどでの情報提供などにより、消費者意識の啓発を推進し、複雑・多様化する消費生活問題の被害を予防するとともに、未然に被害を防ぐための相談を充実します。

3 関係機関との連携強化

相談の充実を図るとともに、関係機関との連携・強化により早期での被害者の救済に対応します。

4 相談の充実

市民が抱えるさまざまな悩みを解決し、安心して生活ができるよう、内容に応じた各種相談を充実します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
消費生活相談件数	2,089件 (平成21年度)	2,300件	相談体制が整っているかを測ります。相談体制の啓発などを通じて、相談件数を毎年50件増加させることを目標としました。
各種市民相談件数	3,827件 (平成21年度)	4,000件	相談体制が整っているかを測ります。相談体制の啓発などを通じて、相談件数を毎年50件増加させることを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
消費生活センター活性化事業		消費者被害を未然に防ぐため、消費生活啓発紙の発行、啓発コーナーの整備、講演会の開催を通じて、市民への情報提供を行います。また、消費生活相談員への研修や家計あんしん相談、消費生活法律相談を開催し、相談窓口の高度化を図ります。 ※家計あんしん相談・消費生活法律相談の回数（平成22年度）：22回・12回				指標 家計あんしん相談の回数 消費生活法律相談の回数 目標 平成23年度 24回 12回 平成24年度 24回 12回 平成25年度 24回 12回
施策の方向性						
1 情報提供の充実と相談の環境整備						
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	14,389 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
犯罪被害者支援事業		犯罪などの被害者や犯罪・事故・いじめなどにより理不尽に命を奪われた犠牲者遺族の、身近な相談場所としての犯罪被害者相談窓口を設置し、心のケアや支援を行います。 ※相談窓口開設回数（平成22年度）：24回				指標 相談窓口開設回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 24回	
4 相談の充実						平成24年度 24回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 24回	
事業主体	市	平成23～25事業費	816 千円			平成24年度 24回	
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

人権擁護活動事業

(1 情報提供の充実と相談の環境整備)

人権問題に関する相談に応じ、関係機関への連絡、助言などの必要な措置を実施します。

消費者団体育成事業

(2 消費者意識の啓発)

市内で消費者問題に取り組んでいる団体の育成や調整事務を行い、消費生活の安定・向上につなげます。

消費者啓発事業

(2 消費者意識の啓発)

消費生活に関する知識の普及と情報の提供など、消費者に対する啓発活動を推進することにより、消費者としての自立を支援します。

家庭二法立入検査の実施及び報告事業

(3 関係機関との連携強化)

市民が商品の知識を正しく認識し、その購入に際し不測の損失を被ることがないようにするとともに、製品の安全性を確保し、消費者の生命、身体に対する危害発生を防止します。

家庭用品品質表示法、消費生活用製品安全法にもとづき市内事業者への立入検査を実施するとともに、市民への周知を進めます。

相談業務事業

(4 相談の充実)

社会環境の変化に伴い市民の相談ニーズも多様化しているなか、各種相談窓口を開設し、安全・安心な生活が送れるよう、市民が抱える様々な悩みや不安を解消します。

消費生活相談事業

(4 相談の充実)

消費者トラブルを相談し解決を図るうえで最も身近となる消費生活相談窓口を開設し、適正かつ確実に対応することにより、消費者の安全と安心を確保します。

多重債務相談事業

(4 相談の充実)

多重債務に陥った市民などへの適切な助言を行い、二次相談先へ繋ぐことにより、債務の解消を目指すとともに、市民が健全な経済生活を送ることができるよう、総合的に支援します。

政策目標
9

生命や財産が守られるまち

目指すべき将来像

安全を守るという目標のもと一丸となり効果的な消防業務を効率的に推進している
市民に消防活動への理解と高い防火・防災意識があり、地域での助け合いの仕組みが
整っている
火災や事故、急病などの際に、消防車や救急車が迅速に駆けつける
多様化する災害に効果的に対応できるよう、消防職員が高い能力を持っている
消防部隊や消防団の連携が強く、高い消防力を持っている

政策目標における3年間の目指すべき方向性

例年、放火やたばこの不始末を原因とした火災が全体の3～4割と多くを占めています。また、救急搬送した傷病者の約5割が軽症者です。継続して防火・防災意識の向上や救急車の適正利用について広く市民に周知するなどの対策を進め、市民とともに安全・安心なまちを目指します。

火災による死傷者数の減少や救命率の向上を図るため、立入検査の実施や住宅用火災警報器の普及促進、各種救命講習会の実施など、さまざまな取り組みを進めています。今後もその効果を検証しつつ、高齢化の進展による世帯構成の変化など社会情勢の変化も視野に入れ事業を進めていきます。

一般会計	件 数	概算事業費
政策的事業	26	724 百万円
定例・定型的事業	58	500 百万円
人件費		5,554 百万円

一般会計概算事業費合計	6,778 百万円
-------------	-----------

施策目標：30

消防業務を円滑に実施するための体制を整備する（消防総務課）



施策の方向性

- 1 組織の効率化と職場環境の整備
効率的な組織の構築、職場環境の整備を行い、消防組織が持つ力を最大限に発揮します。
- 2 消防業務への理解と協力
消防の業務を市民に広く発信することにより、消防活動の行いやすい環境を作り、安全なまちを支えます。
- 3 消防職員の能力向上
複雑・多様化する消防業務に対応するため、専門的知識や技術の習得を図り、消防職員の総合的な能力の向上を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
消防力の整備率	100% (平成22年度)	100%	消防力の状況を測ります。消防力の整備指針に基づく目標水準を維持することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
消防の広域化の検討		消防の広域化などについて、関係市町による協議を進めます。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 広域化の検討	
1 組織の効率化と職場環境の整備						平成24年度 広域化の検討	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 広域化の検討	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
消防職員のストレス ケア対策		メンタルヘルスに関する職員研修を実施します。 専門家の面談等相談体制の構築や、職員によるメンタル不調者の支援及び復職支援を充実します。				指標 面談・研修の回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 30回	
1 組織の効率化と職場環境の整備						平成24年度 25回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 20回	
事業主体	市	平成23～25事業費	2,250 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標		
消防出初式の実施		消防への理解を深め、防火意識の向上を図るための広報手段として、消防出初式を開催します。 ※来場者数（平成22年度）：2,800人				指標 来場者数		
施策の方向性						目標 平成23年度 2,850人		
2 消防業務への理解と協力						平成24年度 2,900人		
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 2,950人		
事業主体	市	平成23～25事業費	696 千円					
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心						
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出							

事業名		事業概要				指標・目標	
消防フェスティバル実施事業		消防団をはじめ、防火・防災協力団体や地域の協力事業所と連携し、消防活動への理解と防火・防災意識の向上を図るため、体験型のイベントを実施します。 ※消防フェスティバル実施回数（平成22年度）：1回				指標 消防フェスティバル実施回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 1回	
2 消防業務への理解と協力						平成24年度 1回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	2,304 千円			平成25年度 1回	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
消防訓練施設整備事業		消防職員・消防団員の技術を維持向上するための消防訓練施設を移転整備します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
3 消防職員の能力向上						平成23年度 建設用地の調整	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 建設用地の調整	
事業主体	市	平成23～25事業費	21,880 千円			平成25年度 移転整備	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

主要な定例・定型的事業

消防用財産の管理事務

(1 組織の効率化と職場環境の整備)

防災拠点である消防本部、消防署・所の庁舎を適切に管理し、災害に万全の体制で対応します。

消防職員研修事業

(3 消防職員の能力向上)

あらゆる災害や多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するため、職務知識の向上を図ります。消防大学校や先進都市などへ職員を派遣するとともに、職員研修を充実します。

施策目標：3.1

火災発生と火災危険を減らす（予防課）



施策の方向性

1 防火意識の普及・啓発

火災予防の調査研究を行い、防火意識の普及・啓発を進め、火災のないまちを目指します。

2 消防用設備などの整備促進

建築物の消防用設備などの整備を適切に指導することで、火災を予防し、火災が発生したときの危険を減らします。

3 火災予防対策の推進

火気使用器具等の防火安全対策について適切に指導し、出火防止を図ります。

4 危険物施設等の安全性向上

危険物施設などの保安基準を適切に指導することにより、安全性を向上し、事故防止を目指します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年の目標値	指標の説明・意図
平均出火率	2.8 件 (平成21年)	平成25年時点の県平均値以下	過去3か年を平均した出火率を測ります。火災予防の施策を推進し、県平均値以下を維持することを目標としました。 平均出火率：人口1万人あたりの市内出火件数を、過去3年間にさかのぼり平均した値 平成21年の県平均値：3.1 件

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
住宅防火安全対策事業		住宅防火対策の啓発活動を実施するとともに、住宅用火災警報器の設置を促進します。 住宅防火指導のための個別訪問を実施します。 ※茅ヶ崎市平均設置率（平成22年6月）：51.4% ※県平均設置率（平成22年6月）：50.9%				指標 住宅用火災警報器の設置率
施策の方向性						目標 平成23年度 県平均設置率以上
1 防火意識の普及・啓発						平成24年度 県平均設置率以上
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	602 千円			平成25年度 県平均設置率以上
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
火災予防運動事業		年2回、市内事業所や関係機関・団体と協力し、火災予防運動を実施します。 火災予防の普及啓発を実施します。 ※火災予防運動協力事業所等箇所数（平成22年度）：300か所				指標 火災予防運動協力事業所等箇所数	
施策の方向性						目標 平成23年度 300か所	
1 防火意識の普及・啓発						平成24年度 300か所	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 300か所	
事業主体	市	平成23～25事業費	468 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
幼年消防クラブ促進事業		実行委員会で催し物の内容を協議し、幼年消防クラブ防火大会を実施します。 幼稚園・保育園の各協会と日程などの調整を行い、参加園の増加を図るとともに、多くの幼年者に防火教育を行います。 ※防火大会参加人数（平成20年度）：1,200人 ※平成21・22年度は荒天などの理由により中止になりました。				指標 防火大会参加人数	
施策の方向性						目標 平成23年度 1,200人	
1 防火意識の普及・啓発						平成24年度 1,200人	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1,200人	
事業主体	民間・市	平成23～25事業費	20 千円			平成25年度 1,200人	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☒ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
危険物施設等の安全確保事業		危険物安全週間の時期をとらえ、安全意識の向上を図るために講習会を開催し、「危険物取扱マニュアルブック」の配布、年間を通しての広報などにより事故防止対策を啓発します。 各事業所に対する計画的な立入検査による違反是正で、事故に対する自主保安体制の向上を図ります。 危険物移送運搬車両（タンクローリーなど）に対する路上検査を実施し、事故防止意識の向上を図ります。 ※違反是正率（平成21年度）：100%				指標 違反是正率	
施策の方向性						目標	
1 防火意識の普及・啓発						平成23年度 100%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 100%	
事業主体	市	平成23～25事業費	174 千円			平成25年度 100%	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

主要な定例・定型的事業

火災予防に係る普及啓発事務

(1 防火意識の普及・啓発)

火災による被害を軽減し、死傷者の発生を防ぐため、火災予防思想を普及します。

建築確認を伴う消防用設備等の設置に関する事務

(2 消防用設備などの整備促進)

防火対象物の消防用設備などの整備を適切に指導することで、火災を予防し、火災が発生したときの被害の軽減を図ります。

火災予防促進事務

(3 火災予防対策の推進)

火災予防上必要な事項を定め、わかりやすい指導や事前相談を行うことで、災害のない安全なまちづくりを促進します。

必要に応じて火災予防条例、規則等を改廃します。火災予防条例に関する事前相談や届出の審査を行います。

危険物の規制に関する事務

(4 危険物施設等の安全性向上)

危険物による事故は重大事故となる可能性が高いため、危険物規制に係る法令に適合しているか審査、検査を実施し、安全を確保します。

施策目標：3.2

消防力を充実し、災害活動体制を強化する（警防課）



施策の方向性

1 消防活動環境の調査・整備

消防活動に関する調査・整備を通して、消防署部隊・消防団部隊の消防活動能力を高めます。

2 消防団との連携強化

消防団との連携を深め、効果的・効率的に災害に対処する能力を高めます。

3 消防緊急通信指令システムの運営

消防緊急通信指令システムを始めとする消防通信指令室にある機器を活用し、消防署・消防団部隊への指令を迅速・的確に行い、あらゆる災害に対応します。また、それら機器を適切に維持管理し、常に活用できる状態を維持します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
消防団員充足率	97.7% (平成22年度)	100%	消防団員の充足状況を測ります。消防団員の情報を積極的に発信することや消防団員の処遇を改善し、充足率を高めることを目標としました。 消防団員充足率: 条例定数 427 人に対する現員数の割合

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
消防団活動施設整備事業		赤羽根土地改良区の整備終了後、地権者から用地を借用し、器具置場を建設します。 借地に建設している施設の内、国有地などの物件については、今後の財政状況を踏まえ調整を進めます。				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標
1 消防活動環境の調査・整備						平成23年度 器具置場建設のための調整
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 器具置場建設
事業主体	市	平成23～25事業費	25,000 千円			平成25年度 器具置場建設のための調整
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☒ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
消防ポンプ自動車等整備事業		活動体制を維持するため、自動車NOx・PM法の規制を受ける車両2台及び老朽化した救急車1台を更新します。 ※車両整備状況（平成22年度）：消防ポンプ自動車等3台更新				指標 車両整備状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 屈折はしご車等2台更新 平成24年度 救急自動車1台更新	
1 消防活動環境の調査・整備						平成25年度 —	
継続		事業実施年度	23年度	24年度			
事業主体	市	平成23～25事業費	150,973 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
消防団車両等整備事業		車両故障などに対応するため非常用消防団車両を1台導入します。 老朽化した消防団車両4台を更新します。 ※車両整備状況（平成22年度）：0台				指標 車両整備状況
施策の方向性						目標 平成23年度 —
1 消防活動環境の調査・整備						平成24年度 1台増車
継続		事業実施年度		24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	35,900 千円			平成25年度 4台更新
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☒ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☒ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☒ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
防火水槽整備事業		浜須賀小学校敷地に防火水槽を整備します。 計画的な防火水槽整備のため、第2次実施計画への反映を目途に、中長期的な消防水利の整備計画を作成します。 ※防火水槽設置数（平成21年度）：1基 ※公設防火水槽数（平成21年度）：215基				指標 防火水槽設置数 計画の作成状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 1基 基礎調査・計画作成	
1 消防活動環境の調査・整備						平成24年度 — 計画作成完了 平成25年度 —	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度			
事業主体	市	平成23～25事業費	9,500 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☒ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
消火栓整備事業		計画的な消火栓整備のため、第2次実施計画への反映を目途に、中長期的な消防水利の整備計画を作成します。 ※公設消火栓数（平成21年度）：2,311基				指標 計画の作成状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 基礎調査・計画作成	
1 消防活動環境の調査・整備						平成24年度 計画作成完了	
継続		事業実施年度	23年度	24年度			
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 —	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標
消防団防火衣等整備事業		消防団員の安全な活動環境を整備するため防火衣及び防火帽を更新します。				指標 防火衣及び防火帽の整備状況
施策の方向性						目標 平成23年度 —
1 消防活動環境の調査・整備						平成24年度 —
新規		事業実施年度			25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	1,500 千円			平成25年度 20着・個整備
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
消防緊急通信指令システム部分改修事業		消防緊急通信指令システムの中核であるコンピューター部分が老朽化しているため、更新し、それに伴うシステムを再構築します。				指標 指令システム部分改修状況及び運用状況	
施策の方向性						目標	
3 消防緊急通信指令システムの運営						平成23年度 新システム構築及び機器リース運用開始	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 機器リースによる安定運用	
事業主体	市	平成23～25事業費	55,194 千円			平成25年度 機器リースによる安定運用	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事 業 名		事 業 概 要				指標・目標	
消防救急無線再整備事業		消防救急無線を、平成28年5月で使用できなくなるアナログ方式から、デジタル方式に更新します。				指標 整備状況	
施策の方向性						目標	
3 消防緊急通信指令システムの運営						平成23年度 共通波 実施設計 活動波 基本設計	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 共通波 整備工事 活動波 実施設計	
事業主体	市	平成23～25事業費	308,608 千円			平成25年度 共通波 整備工事 活動波 整備工事	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
車両動態位置管理装置システム改修事業		消防車両の位置を把握するためのシステムです。 平成24年3月に終了になる、NTTのDopa通信方式からFOMA通信方式に更新します。				指標 新システム運用状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 新システム運用開始	
3 消防緊急通信指令システムの運営						平成24年度 機器リースによる安定運用	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 機器リースによる安定運用	
事業主体	市	平成23～25事業費	41,623 千円			平成25年度 機器リースによる安定運用	
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標
発信地表示システム改修事業		119番通報者の場所を把握するシステムです。 先発のNTT固定発信地表示システムと後発のIP・携帯発信地システムを統合し、管理の合理化を図ります。				指標 システム改修状況
施策の方向性						目標 平成23年度 改修完了 平成24年度 — 平成25年度 —
3 消防緊急通信指令システムの運営						
新規		事業実施年度	23年度			
事業主体	市	平成23～25事業費	1,802 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
消防支援情報管理装置更新事業		災害情報などを統計的に管理することや災害報告書を作成するためのシステムが老朽化しているため、そのシステムを更新します。				指標 消防支援情報管理装置の運用状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 システム運用開始	
3 消防緊急通信指令システムの運営						平成24年度 システム安定運用	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 システム安定運用	
事業主体	市	平成23～25事業費	23,700 千円			平成25年度 システム安定運用	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

主要な定例・定型的事業

消防車両維持管理事業 (1 消防活動環境の調査・整備)

出動に支障がないよう消防車両を定期的に点検し、突発の故障には迅速に対応します。

消防団員訓練関係事務 (1 消防活動環境の調査・整備)

消防団員の活動能力を向上するため、訓練及び研修を行います。

消防団活動施設等維持管理事業 (1 消防活動環境の調査・整備)

消防団の車両や活動拠点である器具置場を維持管理し、消防団員が迅速的確に活動できる環境を維持します。

消防水利維持管理事業 (1 消防活動環境の調査・整備)

火災の際に使用する、消火栓、防火水槽を維持管理します。
迅速な消火活動を行うため、消火栓や防火水槽の視認性を高めます。

消防団連携強化事業 (2 消防団との連携強化)

効率的に災害に対応するため、消防職員と消防団員との連携を強化します。

消防緊急通信指令システム運用事務 (3 消防緊急通信指令システムの運営)

消防緊急通信指令システムを適切に運用し、119番通報への対応、消防署部隊への出動などの指令、各種災害支援情報の収集を実施します。

消防緊急通信指令システム維持管理事業 (3 消防緊急通信指令システムの運営)

消防緊急通信指令システムを常に使用可能な状況にしておくために、保守点検や消耗部品の交換など、維持管理を実施します。

施策目標：3.3**救急業務の高度化を図り、質の高い救急サービスを提供する（救命課）****施策の方向性****1 救急・救助活動環境の調査・整備**

救急・救助活動に関する調査・整備を通して、消防署部隊の救急・救助活動能力を高めます。

2 救命講習会などの受講環境の整備

市民に対する救命講習会などの受講環境を整備し、救命に必要な技術や知識を習得した市民を増やすことで、市民が市民を救うまちを目指します。

3 救急車利用の適正化

広報紙や市ホームページを活用するなどして、救急車の適正な利用方法を周知し、不適正な利用を抑制します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
各種救命講習会の累計受講者数	25,000人 (平成21年度)	45,000人	各種救命講習会の累計受講者数を測ります。開催日時・場所などの受講環境や広報手法を工夫することにより、年間5,000人受講することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
AED（自動体外式除細動器）の整備及び運用		定期巡回点検の実施と使用期間の限られた消耗品（バッテリー、電極パッド）を定期的に交換します。 ※バッテリー交換数・電極パッド交換数（平成22年度）：37器・173組				指標 バッテリー交換数 電極パッド交換数
施策の方向性						目標
1 救急・救助活動環境の調査・整備						平成23年度 51器 175組
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 4器 175組
事業主体	市	平成23～25事業費	10,567 千円			平成25年度 23器 175組
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
救急救命士の養成及び育成		計画的に養成することにより、一定数の人員を維持します。 計画的に研修などを実施することにより、常に最新の技術、知識を維持します。 ※救急救命士の養成、研修人数（平成22年度）：養成2人・研修21人				指標 救急救命士の養成、研修人数	
施策の方向性						目標	
1 救急・救助活動環境の調査・整備						平成23年度 養成2人 研修20人	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 養成2人 研修22人	
事業主体	市	平成23～25事業費	21,022 千円			平成25年度 養成2人 研修24人	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
湘南地区メディカルコントロール(地域医療機関との連携)事業		研修・セミナーなどによる救急隊員のスキルアップを図るとともに、教育体制を維持するための受け入れ医療機関を拡充します。 症例に応じた各ガイドラインなどを作成するとともに、救急救命士が特定の救命行為を行う際に医師から指導、助言を受ける体制を維持します。 ※協議会内のセミナー・各部会等開催回数（平成21年度）：62回				指標 協議会内のセミナー・各部会等開催回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 65回	
1 救急・救助活動環境の調査・整備						平成24年度 65回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 65回	
事業主体	民間・市	平成23～25事業費	4,442 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
安心カプセル・安心カード推進事業		かかりつけ病院や氏名、生年月日などの医療情報を記入した安心カードを、容器に入れて自宅に備え付け、又は外出時に携帯してもらうことにより、急病など緊急時の安心感を高めます。				指標 安心カードセット配布数	
施策の方向性						目標 平成23年度 5,000セット	
1 救急・救助活動環境の調査・整備						平成24年度 4,000セット	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 4,000セット	
事業主体	市	平成23～25事業費	1,200 千円			平成25年度 4,000セット	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
救命講習会拡大事業		救命講習会の指導者となる応急手当普及員（指導員）を養成・育成し、多くの市民が救命講習会を受講できる環境を整えます。 講習会用資器材を整備します。 ※各種救命講習会の累計受講者数（平成21年度）：25,000人				指標 各種救命講習会の累計受講者数	
施策の方向性						目標 平成23年度 35,000人	
2 救命講習会などの受講環境の整備						平成24年度 40,000人	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 45,000人	
事業主体	市	平成23～25事業費	4,624 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☒ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

主要な定例・定型的事業

市内医療機関との連携及び調整事務 (1 救急・救助活動環境の調査・整備)

救急業務が適切に実施できるよう、市内医療機関との連携を進めます。

救急隊員の教育及び訓練実施事業 (1 救急・救助活動環境の調査・整備)

救急需要に対し適切に対応できるよう、救急隊員の研修及び訓練を実施します。

救助隊員の教育及び訓練実施事業 (1 救急・救助活動環境の調査・整備)

救助需要に対し適切に対応できるよう、救助隊員の研修及び訓練を実施します。

救急車利用適正化事業 (3 救急車利用の適正化)

真に必要な患者のもとへ迅速に出動するため、救急車を適正に利用していただくための情報を、市広報紙など様々な媒体を活用して、発信します。

施策目標：34

防火対策の指導を効果的に実施する（指導課）



施策の方向性

- 1 立入検査の環境整備と効果的・効率的な実施
事業所などへの立入検査を行う体制を整備し、また、効果的・効率的な立入検査を実施し、火災危険のないまちを目指します。
- 2 火災予防対策の支援
防災アカデミー・防火講習会などを開催し、防火管理意識の向上を図り、火災予防対策を支援します。
- 3 消防活動の支援等
消防活動用品を、使用頻度などを考慮しつつ限られた財源の中で整備し、消防活動を支援します。
り災者の必要に応じて、り災証明書や救急搬送証明書を発行します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
防火対象物への立入検査件数	499件 (平成21年度)	525件以上	防火対象物への立入検査の状況を測ります。計画的に立入検査を実施し火災発生の予防や被害の軽減を図ります。「茅ヶ崎市消防署立入検査要領」に定める年間525件以上の立入検査実施を目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
防災アカデミー事業		小学生の消防署見学の内容を充実します。 中学生への出張講話の実施や、職場体験の内容を充実します。 ※防災アカデミー実施校数（平成22年度）：小学校19校・中学校7校				指標 防災アカデミー実施校数	
施策の方向性						目標	
2 火災予防対策の支援						平成23年度 小学校19校 中学校8校	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 小学校19校 中学校9校	
事業主体	市	平成23～25事業費	60 千円			平成25年度 小学校19校 中学校10校	
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

消防対象物の不備欠陥事項の改修指導等事務 (1 立入検査の環境整備と効果的・効率的な実施)

消防対象物が消防法令などに基づき適正に維持管理されているか立入検査を実施し、不備欠陥事項があれば指導や命令などにより改善を図ります。

事業所等の消防訓練に関する事務

(2 火災予防対策の支援)

消防訓練が義務化されている事業所などへの訓練指導や、訓練資機材などの貸出を行い、効果的な消防訓練の実施を促進します。

消防活動用品の管理事務

(3 消防活動の支援等)

災害に確実に対応するため、消防活動用品の整備、管理を行います。

り災証明書及び救急搬送証明書の発行事務

(3 消防活動の支援等)

火災などの災害にり災した方や救急搬送された方の求めに応じて証明書を発行します。

施策目標：35

消防業務を効果的・効率的に実施する（警備第一・二課）



施策の方向性

- 1 あらゆる災害への対応
災害に効果的に対応できる能力を高め、あらゆる災害に対応します。
- 2 効率的な消防の展開
消防のあらゆる業務を主体的・補完的に担い、効率的な消防を支えます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年の目標値	指標の説明・意図
救急現場到着平均時間	6.2分 (平成21年)	6.1分	119番入電から現場到着までの平均時間を測り、救急部隊の初動体制が効果的に機能しているか、消防施設が適正に配置されているかを測ります。平成17年から平成21年の神奈川県内到着平均時間の平均値6.3分以下を目標としました。

主要な定例・定型的事業

火災・救助業務

(1 あらゆる災害への対応)

火災や風水害への対応を進め、災害による被害を軽減します。

硫化水素を使用した自殺など特殊な案件が発生しており、訓練・研修を充実し、能力を向上して被害の軽減に努めます。

救急業務

(1 あらゆる災害への対応)

救急要請に迅速的確に対応し、茅ヶ崎市域にある方全ての安全・安心を高めます。

訓練・研修を充実し救急技術を向上します。

立入検査業務

(2 効率的な消防の展開)

火災発生を防止し、火災による損害を軽減するため立入検査を実施します。

計画的に立入検査を実施し、安全なまちづくりを促進します。